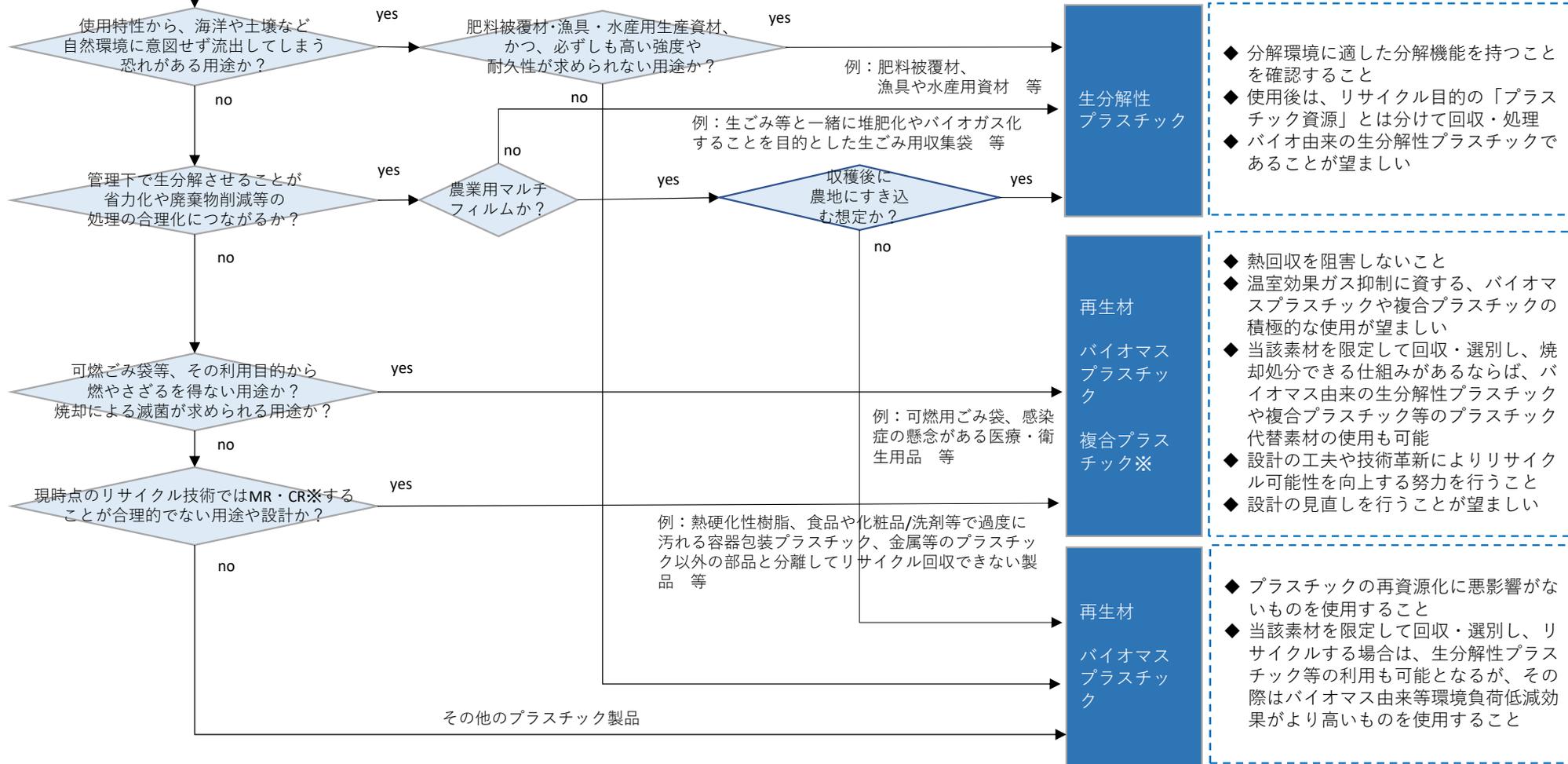


バイオプラスチック導入検討フローチャート

<導入に適したプラスチック> <備考>

スタート

主としてプラスチックを使用した製品開発を前提としている



※用語説明

MR：マテリアルリサイクル／CR：ケミカルリサイクル／

複合プラスチック：プラスチックと紙粉、木粉、資源米、工業用澱粉、貝殻粉、石灰石等の天然由来素材を混練した複合プラスチック

- ◆ 分解環境に適した分解機能を持つことを確認すること
- ◆ 使用後は、リサイクル目的の「プラスチック資源」とは分けて回収・処理
- ◆ バイオ由来の生分解性プラスチックであることが望ましい

- ◆ 熱回収を阻害しないこと
- ◆ 温室効果ガス抑制に資する、バイオマスプラスチックや複合プラスチックの積極的な使用が望ましい
- ◆ 当該素材を限定して回収・選別し、焼却処分できる仕組みがあるならば、バイオマス由来の生分解性プラスチックや複合プラスチック等のプラスチック代替素材の使用も可能
- ◆ 設計の工夫や技術革新によりリサイクル可能性を向上する努力を行うこと
- ◆ 設計の見直しを行うことが望ましい

- ◆ プラスチックの再資源化に悪影響がないものを使用すること
- ◆ 当該素材を限定して回収・選別し、リサイクルする場合は、生分解性プラスチック等の利用も可能となるが、その際はバイオマス由来等環境負荷低減効果がより高いものを使用すること